

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りんく泉崎教室		
○保護者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	丁寧な関わりと高い信頼関係	保護者からは「時間をかけて向き合ってくれる」「安心して任せられる」といった声があり、個別に寄り添う支援が高く評価されている。	環境面の細部改善 トイレ環境や水回りなど、より快適に過ごせる環境づくりを進める。
2	環境整備と日々の支援力	空間の構造化や清潔な環境づくり、日々の関わりを通して、安心して過ごせる環境が整っている。	活動の質向上 イベントや日々の活動において、ねらいの明確化と振り返りを強化する。
3	日々の共有と関係性の構築	お便り帳や送迎時のやり取りを通して、子どもの様子を丁寧に伝える体制ができています。	地域交流の推進 地域との関わりや外部との交流機会を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援計画の未整備・共有不足 アセスメント・支援計画の作成や職員間共有が十分に機能していない。	支援はできているが「言語化・仕組み化」ができていない	支援計画の整備・共有の徹底 アセスメント→計画→実施→振り返りの流れを構築し、全職員で共有する。
2	支援の個人依存 日々の支援が職員個人の経験や感覚に依存している部分がある。	アセスメントや計画を現場に落とし込む仕組みが不足	支援の標準化 日々の支援を言語化し、誰でも同じ質で提供できる体制を整える。
3	振り返り・改善の弱さ PDCAは回しているが、改善までつながっていないケースがある。	経験値に頼る支援になりやすい環境	振り返りの質向上 イベント・日々の支援について「ねらい→結果→改善」を明確にする。